

会社概要

Jimoto Holdings

じもとホールディングス

会社概要

2025年9月末現在

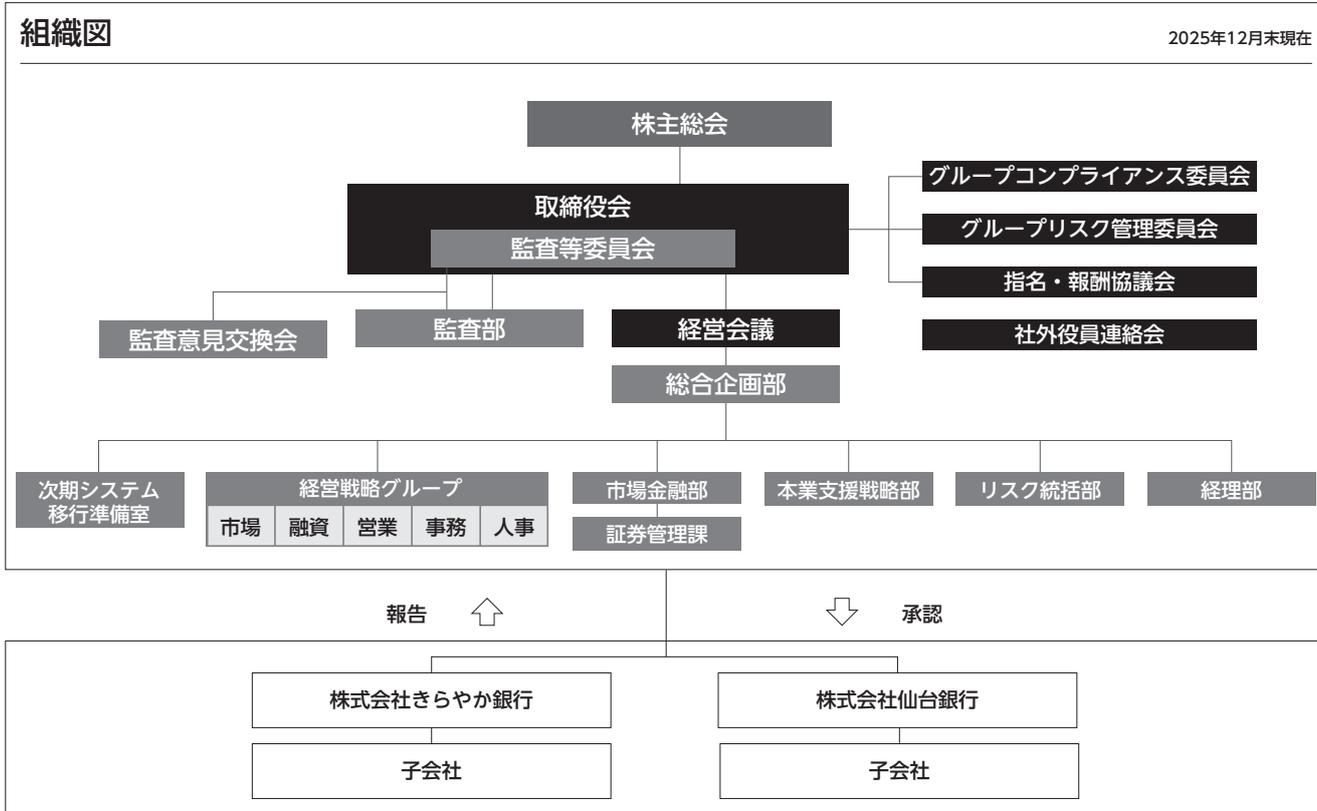
名称	株式会社じもとホールディングス
本社所在地	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号	022-722-0011 (代表)
事業内容	1. 銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯又は関連する業務 2. その他銀行法により銀行持株会社が営むことができる業務
設立年月日	2012年10月1日
資本金	287億33百万円
上場取引所	東京証券取引所
ホームページ	https://www.jimoto-hd.co.jp/

経営の組織

Jimoto Holdings

組織図

2025年12月末現在



会計監査人の氏名又は名称

Jimoto Holdings

会計監査人の名称

2025年12月末現在

EY新日本有限責任監査法人

役員の状況

Jimoto Holdings

役員

2025年12月末現在



取締役会長（代表取締役）

西塚 英樹



取締役社長（代表取締役）

坂爪 敏雄



常務取締役

尾形 毅



常務取締役

鈴木 治



取締役

中澤雄二郎



取締役

鈴木 拓志



取締役

柴田 健



取締役

小林 祐介



取締役（社外）

半田 稔



取締役（社外）

長谷川 靖



取締役（社外）

佐竹 勤



取締役監査等委員（常勤）

三瓶 渉



取締役監査等委員（社外）

伊藤 吉明



取締役監査等委員（社外）

高橋 節



取締役監査等委員（社外）

伊東 昭代

事業系統図、子会社に関する事項

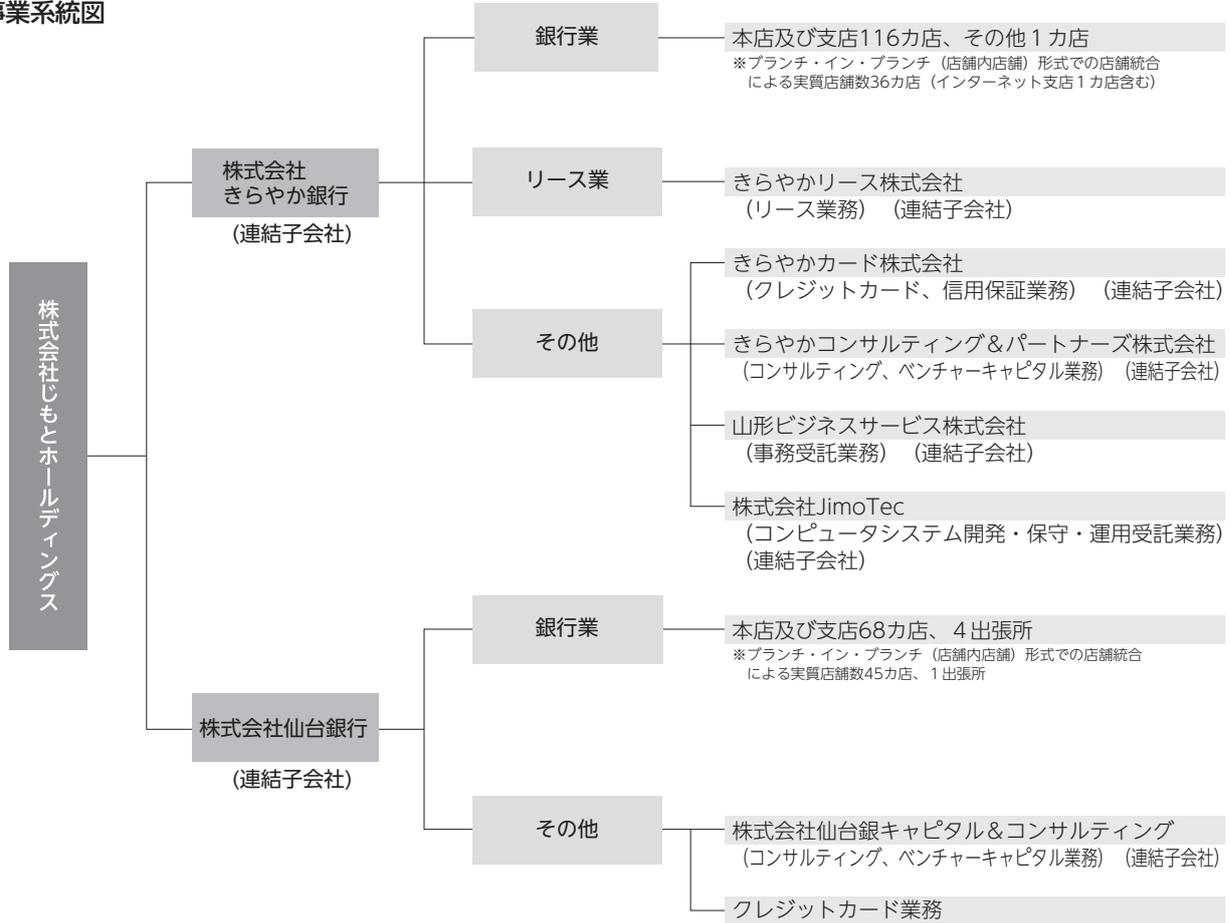
Jimoto Holdings

企業情報

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、連結子会社8社で構成され、銀行業務を中心に金融サービスに係る事業を行っております。

2025年12月末現在

事業系統図



子会社に関する事項 (2025年12月末現在)

会社名	所在地	事業内容	設立年月日	資本金 (百万円)	議決権の所有割合		
					じもと ホールディングス	きらやか 銀行	仙台銀行
株式会社きらやか銀行	山形市旅籠町三丁目2番3号	銀行業	2007年5月7日	24,000	100.0% (-)	-	-
株式会社仙台銀行	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号	銀行業	1951年5月25日	22,735	100.0% (-)	-	-

きらやか銀行子会社

きらやかリース株式会社	山形市七日町二丁目6番3号	リース業務	1975年5月22日	80	98.0% (98.0%)	98.0% (-)	-
きらやかカード株式会社	山形市七日町二丁目6番3号	クレジットカード・ 信用保証業務	1988年8月1日	30	100.0% (100.0%)	100.0% (-)	-
きらやかコンサルティング &パートナーズ株式会社	山形市旅籠町三丁目2番3号	コンサルティング、 ベンチャーキャピタル業務	1996年4月3日	30	55.0% (55.0%)	55.0% (20.0%)	-
山形ビジネスサービス 株式会社	山形市旅籠町三丁目2番3号	事務受託業務	1981年1月23日	10	100.0% (100.0%)	100.0% (-)	-
株式会社JimoTec	山形市清住町二丁目7番1号	コンピュータシステム 開発・保守・運用受託業務	1974年10月31日	60	100.0% (100.0%)	100.0% (-)	-

仙台銀行子会社

株式会社仙台銀 キャピタル&コンサルティング	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号	コンサルティング、 ベンチャーキャピタル業務	2020年1月10日	50	100.0% (100.0%)	-	100.0% (-)
---------------------------	------------------	---------------------------	------------	----	--------------------	---	---------------

(注) 「議決権の所有割合」欄の()内は子会社による間接所有の割合(内書き)であります。

会社概要、主要な業務内容

Kirayaka Bank

きらやか銀行

会社概要

2025年9月末現在

名称	株式会社きらやか銀行
本店所在地	山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号	023-631-0001 (代表)
設立年月日	2007年5月7日
資本金	240億円
預金・譲渡性預金	11,404億円
貸出金	9,510億円
従業員数	640名
店舗数	117カ店 (県内98カ店、県外18カ店、その他1カ店) ※ランチ・イン・ランチ (店舗内店舗) 形式での店舗統合による実質店舗数36カ店 (県内25カ店、県外10カ店、その他1カ店)
ホームページ	https://www.kirayaka.co.jp/

主要な業務の内容

2025年12月末現在

預金業務

■預金

当座預金、普通預金、決済用預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金等を取り扱っております。

■譲渡性預金

譲渡可能な定期預金を取り扱っております。

貸出業務

■貸付

手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取り扱っております。

■手形の割引

銀行引受手形、商業手形及び荷付為替手形の割引を取り扱っております。

商品有価証券売買業務

国債等公共債の売買業務を行っております。

有価証券投資業務

預金の支払準備及び資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

内国為替業務

送金為替、当座振込及び代金取立等を取り扱っております。

社債受託及び登録業務

担保付社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び登録に関する業務を行っております。

特定社債保証制度による無担保社債の受託業務を行っております。

確定拠出年金業務

確定拠出年金業務 (企業型年金・個人型年金) に関する各種業務を行っております。

附帯業務

■代理業務

日本銀行歳入代理店

地方公共団体の公金取扱業務

勤労者退職金共済機構の代理店業務

株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務

日本政策金融公庫等の代理貸付業務

■保護預り及び貸金庫業務

■有価証券の貸付

■債務の保証 (支払承諾)

■公共債の引受

■国債等公共債及び証券投資信託の窓口販売業務

■損害保険の窓口販売業務

■生命保険の窓口販売業務

■金融商品仲介業務

■市場誘導業務

銀行代理業者に関する事項

2025年12月末現在

■銀行代理業者の商号

株式会社仙台銀行

■仙台銀行がきらやか銀行のために銀行代理業を営む事務所の名称

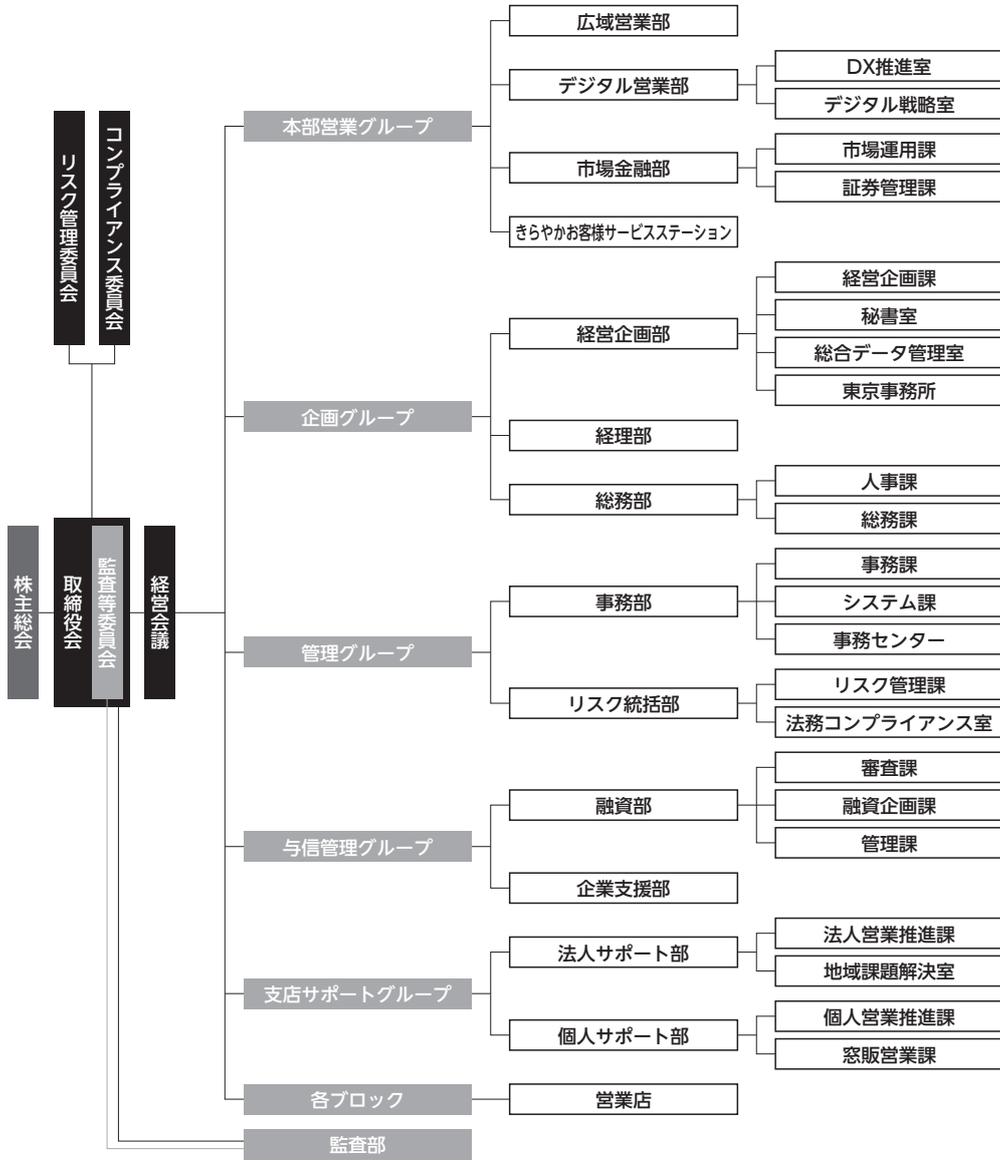
株式会社仙台銀行営業本部個人営業部個人営業企画課

経営の組織

Kirayaka Bank

組織図

2025年12月末現在



役員の状況

Kirayaka Bank

役員

2025年12月末現在

取締役頭取 (代表取締役)	西塚 英樹	取締役	菅井 崇広
専務取締役 (代表取締役)	鈴木 治	取締役 (非業務執行)	長谷川 靖
常務取締役 (代表取締役)	鈴木 拓志	取締役監査等委員 (常勤)	岡崎 和弘
常務取締役	小林 祐介	取締役監査等委員 (社外)	結城 章夫
取締役	細井 信治	取締役監査等委員 (社外)	五十嵐 正明
取締役 (本店営業部長委嘱)	斎藤 秀		

会計監査人の氏名又は名称

Kirayaka Bank

会計監査人の名称

2025年12月末現在

EY新日本有限責任監査法人

会社概要、主要な業務内容

Sendai Bank

仙台銀行

会社概要

2025年9月末現在

名称	株式会社仙台銀行
本店所在地	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号	022-225-8241 (代表)
設立年月日	1951年5月25日
資本金	227億35百万円
預金・譲渡性預金	12,213億円
貸出金	9,800億円
従業員数	683名
店舗数	72カ店 ※ランチ・イン・ランチ (店舗内店舗) 形式での店舗統合による実質店舗数45カ店、1出張所
ホームページ	https://www.sendaibank.co.jp/

主要な業務の内容

2025年12月末現在

預金業務

■預金

当座預金、普通預金、決済用普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金等を取り扱っております。

■譲渡性預金

譲渡可能な定期預金を取り扱っております。

貸出業務

■貸付

手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取り扱っております。

■手形の割引

銀行引受手形、商業手形及び荷付為替手形の割引を取り扱っております。

商品有価証券売買業務

国債等公共債の売買業務を行っております。

有価証券投資業務

預金の支払準備及び資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

内国為替業務

送金為替、当座振込及び代金取立等を取り扱っております。

社債受託及び登録業務

担保付社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び登録に関する業務を行っております。

附帯業務

■代理業務

日本銀行歳入代理店
地方公共団体の公金取扱業務
日本政策金融公庫等の代理貸付業務
株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務
住宅金融支援機構等の代理店業務

■貸金庫業務

■有価証券の貸付

■債務の保証 (支払承諾)

■公共債の引受

■国債等公共債及び投資信託の窓口販売業務

■バンクカード業務

■クレジットカード業務

■損害保険の窓口販売業務

■生命保険の窓口販売業務

■金融商品仲介業務

銀行代理業者に関する事項

2025年12月末現在

■銀行代理業者の商号

株式会社きらやか銀行

■きらやか銀行が仙台銀行のために銀行代理業を営む事務所の名称

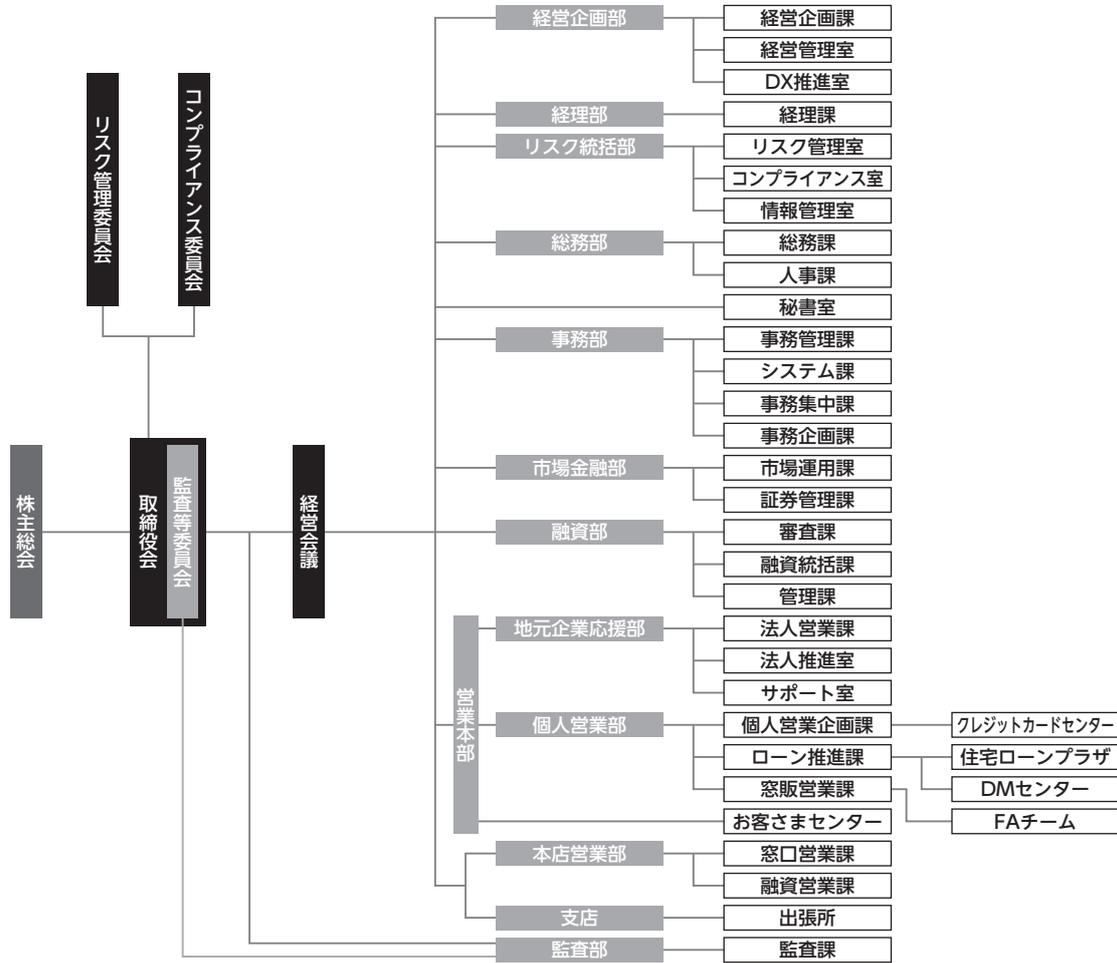
株式会社きらやか銀行きらやかお客様サービスステーション

経営の組織

Sendai Bank

組織図

2025年12月末現在



役員 の 状況

Sendai Bank

役員

2025年12月末現在

取締役会長	鈴木 隆	取締役 (営業本部長兼地元企業応援部長委嘱)	丹野 俊敬
取締役頭取 (代表取締役)	坂爪 敏雄	取締役 (事務部長委嘱)	新貝 史明
専務取締役 (代表取締役)	尾形 毅	取締役 (社外)	堀内 政司
常務取締役 (代表取締役)	中澤 雄二郎	取締役監査等委員 (常勤)	千葉 裕子
常務取締役 (経営企画部長兼経理部長委嘱)	柴田 健	取締役監査等委員 (社外)	柴田 純一
取締役 (本店営業部長委嘱)	池田 清	取締役監査等委員 (社外)	氏家 道也

会計監査人の氏名又は名称

Sendai Bank

会計監査人の名称

2025年12月末現在

EY新日本有限責任監査法人

グループ経営理念



宮城と山形をつなぎ、 中小企業支援を通じて、 地元中小企業や地域に貢献する

当グループは、宮城・山形両県にまたがる金融グループとして、両県の人・情報・産業を「つなぐ」架け橋となり、共同商品の開発やサービスの向上、経営資源の戦略的な配分を通じて、多面的な金融サービスを創造・提供し、地元経済活性化に貢献してまいります。

じもとホールディングス

じもとグループ

株式会社きらやか銀行

(連結子会社)

本店及び支店116カ店、その他1カ店

※ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数36カ店(インターネット支店1カ店含む)

株式会社仙台銀行

(連結子会社)

本店及び支店68カ店、4出張所

※ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数45カ店、1出張所

きらやかリース株式会社

(連結子会社)

リース業務

きらやかカード株式会社

(連結子会社)

クレジットカード、信用保証業務

きらやかコンサルティング & パートナース株式会社

(連結子会社)

コンサルティング、ベンチャーキャピタル業務

山形ビジネスサービス株式会社

(連結子会社)

事務受託業務

株式会社 JimoTec

(連結子会社)

ソフトウェア開発・保守・運用受託業務

株式会社仙台銀キャピタル&コンサルティング

(連結子会社)

コンサルティング、M&A・事業承継、人材紹介、キャピタル業務

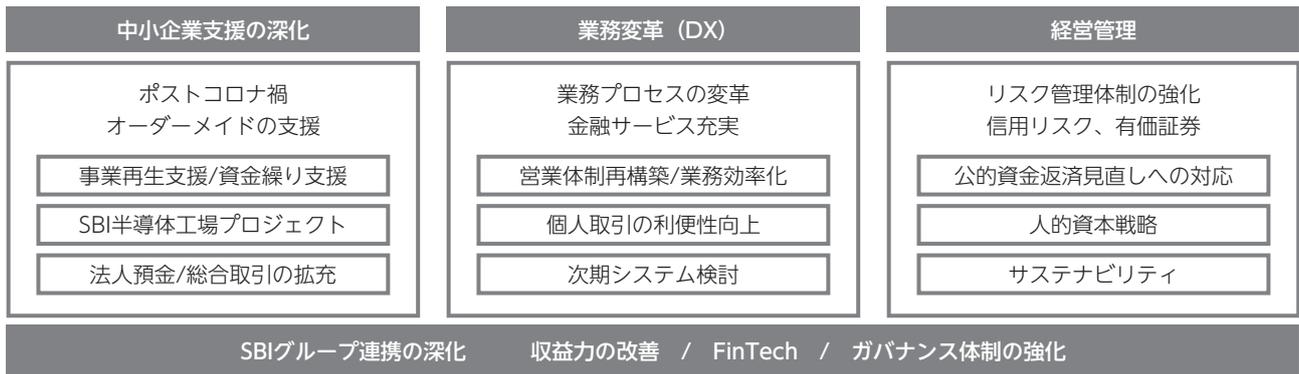
グループ経営戦略

中期経営計画（計画期間：2024年4月～2027年3月）

計画方針と目指す姿

中期経営計画では、経営理念である「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域社会に貢献する」のもと、「グループの業績と信頼の回復、企業価値向上」を計画方針とし、「中小企業支援の深化」「業務変革（DX）」「経営管理」において、「SBIグループ連携」を深めながら、地域創生、業務変革のスピードアップ、経営管理の高度化に取り組みます。

これらの取り組みを通じ、取引先業況の改善、グループ業績回復、公的資金返済へつなげる「共通価値の創造」の実現を目指していきます。



目指す姿（共通価値の創造）：取引先の業況改善 → グループ業績回復（復配） → 公的資金の返済へ

○中小企業支援の深化

- ・ポストコロナ禍では、取引先毎に経営状況が大きく異なり、オーダーメイドの支援策をスピーディに実施することが求められています。
- ・資金繰り支援に加え、事業再生/成長支援が重要であり、コロナ特例公的資金注入行として、コンサル子会社と連携して経営支援を進めます。
- ・SBI半導体工場プロジェクトは、SBIホールディングスとPSMCとの提携が解消となりましたが、引き続き、宮城県の半導体産業活性化に貢献すべく取り組みを継続しております。
- ・金利環境の変化等により預金取引の重要性が再び高まっており、法人預金を含む総合取引、インターネットや職域取引の拡充を進めます。

	きらやか銀行	仙台銀行	SBIグループ連携
HD共同施策 両行が共同で 重点対応	SBI半導体工場プロジェクト ・工場建設に係る協力業者の紹介及び融資対応 ・不動産賃貸融資、住宅ローン、物件紹介の推進 ・不動産情報の提供、県内サプライヤーへ融資対応 ・半導体後工程のサプライヤー紹介、情報提供		
	仙台地区戦略 ・幅広い業種での取引先の裾野拡大 ・公庫連携による創業支援の拡充 ・融資渉外担当者の適正配置と育成 ・協調融資、紹介融資の取組み		地方創生への貢献 ・電子地域通貨の活用提案 ・ふるさと納税等
HD共通施策 グループ方針を 共有、各行が対応	取引先に応じたオーダーメイドの支援 / 法人預金・総合取引の拡充		
	【地元密着の営業】 ・取引先への訪問活動を徹底 ・課題解決型の成長、再生支援 ・業種別の専門性の蓄積	【総合取引の推進】 ・オーダーメイド、スピード対応 ・セカンドオピニオン機能の発揮 ・法人預金、総合取引の拡大	

○業務変革 (DX)

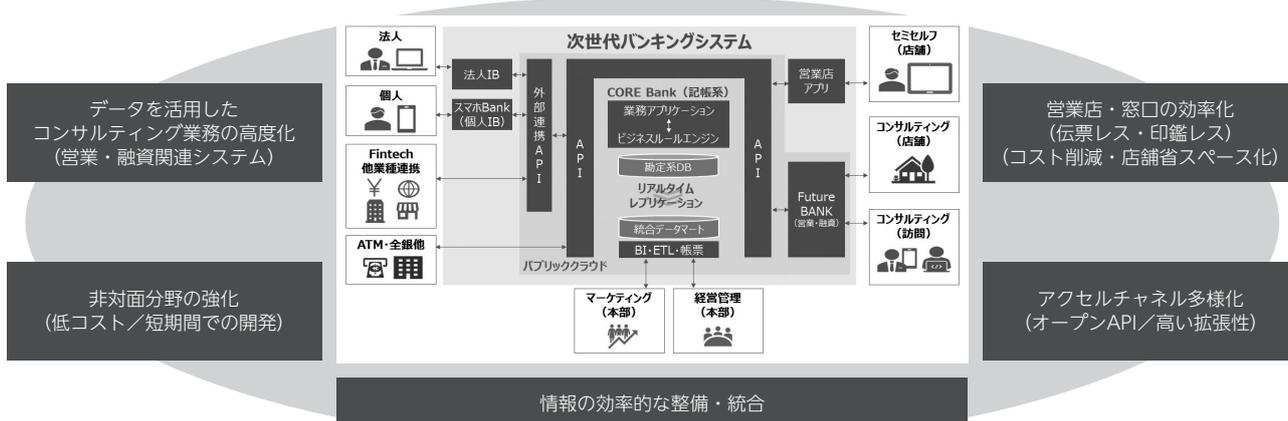
- ・ポストコロナ禍での社会経済の変化、とりわけ人手不足と急速なDX進展などに応じた、スピード感ある業務変革が重要課題であります。
- ・引き続き「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で進め、経営資源を効率的に再配分し、営業体制の強化につなげます。
- ・とりわけ「人員戦略」は、人手不足のなか、本部、営業店の適正人員の再配置が重要課題であり、SBIの知見等も活用して対応を進めます。
- ・中長期的な業務全体の改革も見据え、次期システムの検討に着手し、先行事例を踏まえながらグランドデザインを検討していきます。

	きらやか銀行	仙台銀行	SBIグループ連携
HD共同施策	次期システムプロジェクト		
両行が共同で 重点対応	システム導入・更新		次世代へ向けた人事交流
	<ul style="list-style-type: none"> ・AML/CFTの態勢の高度化（全銀協支援サービスの有効利用） ・次期システムを見据えた各種システムの最適化 ・顧客管理の高度化（AI、ビッグデータ活用） 		<ul style="list-style-type: none"> ・SBIグループヘトレーニー派遣（DX、有価証券、M&A）
HD共通施策	営業体制の再構築 / 業務効率化		個人取引の利便性向上
グループ方針を 共有、各行が対応	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア制度の導入 ・若手職員主体の改革プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア営業の拡大 ・法人推進室の若手渉外育成 	(きらやか) <ul style="list-style-type: none"> ・ネット支店のWEB預金取引（サービス向上、IB機能拡充） (仙台銀行) <ul style="list-style-type: none"> ・バンキングアプリの機能追加 ・IBのバージョンアップ ・更新系API追加
	人員戦略		
	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様と接見する職員の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場に応じた適切な人員配置 	

<SBI次世代バンキングシステム採用決定>

- ・2025年9月、当社グループは、SBI地方創生バンキングシステム株式会社が提供する「地域金融機関向けクラウドベースの勘定系システム（以下、次世代バンキングシステム）」の採用を決定いたしました。次世代バンキングシステムは、2028年度内の稼働を予定しております。
- ・次世代バンキングシステムの特徴は以下のとおりです。
 - ①アマゾンウェブサービス（AWS）上で設計・構築され、高い拡張性を実現、オープンAPIを通じてアクセスチャネルの多様化が可能。
 - ②新しいサービス拡充や機能追加が低コストかつ短期間で実現でき、経営環境の変化に柔軟かつスピーディに対応が可能。
 - ③銀行事務が紙からデジタルに変革し、一部取引を除き、伝票レス・印鑑レスになるなど、スムーズな窓口手続きが可能。
 - ④印刷コスト削減や店舗の省スペース化など業務効率化を実現。
 - ⑤お客さまの情報を効率的に整備・統合する営業・融資関連システム（FutureBANK）の導入により、迅速かつ最適な提案が可能。

【次世代バンキングシステムのイメージ図】



- ・「次世代バンキングシステム」の導入により、Web取引を拡充するとともに、抜本的な事務削減や効率化を図り、事務量の削減を踏まえ、じもとグループの“強み”である「対面による営業活動」に、さらに注力してまいります。
- ・これまで以上に、お客さまのニーズに「スピーディ」かつ「的確」に対応することで、「お客さまから選ばれ続ける銀行」をめざします。

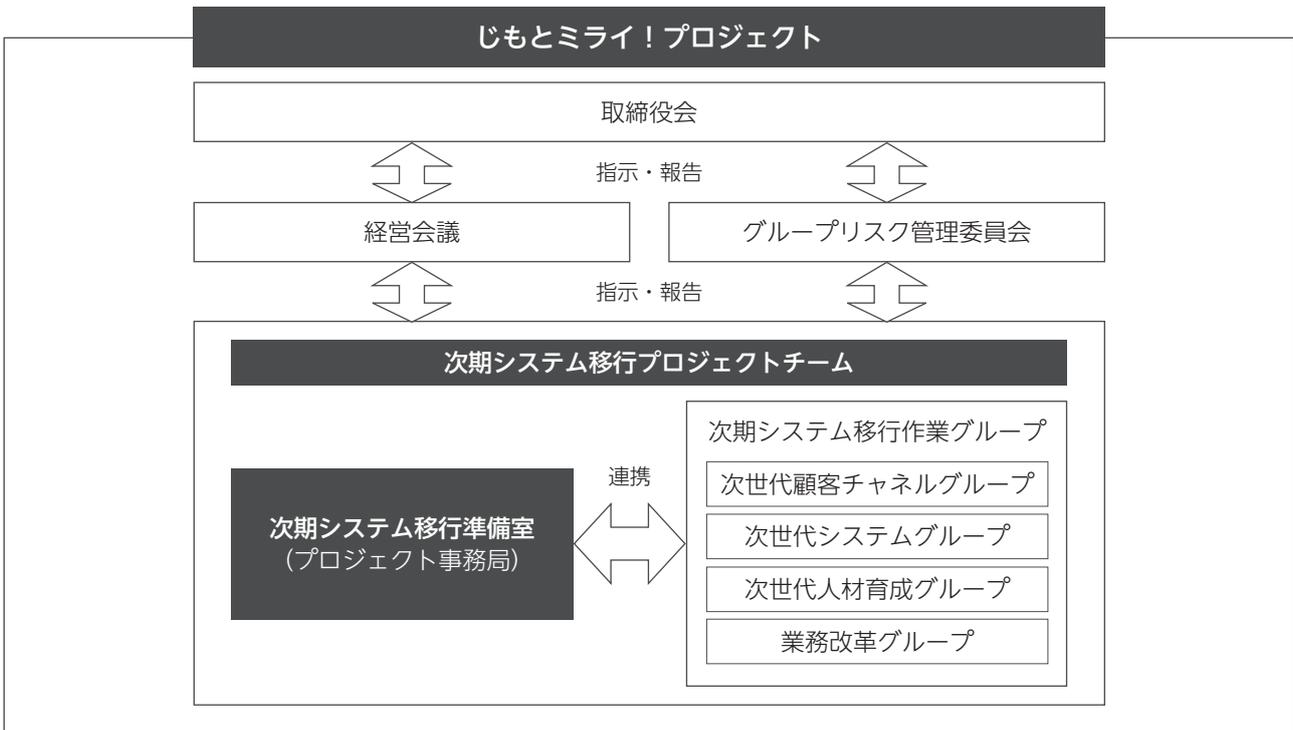
【じもとグループがめざす姿】

中長期的に実現すべき将来の銀行業務の姿

- ① 取引先毎オーダーメイド支援（資金繰り、事業再生）、多様なライフコンサルティングなど、コンサルティング機能の発揮
- ② Web取引の拡充による顧客利便性の向上、新サービスの展開
- ③ データ利活用による、顧客ニーズに応じたサービス提供、業務効率化
- ④ 営業店・本部の事務削減、経営資源を事務部門からコンサルティング部門へシフト

「お客さまから選ばれ続ける銀行」へ

- ・じもとホールディングス内に両行職員から選出した「次期システム移行プロジェクトチーム」（57名体制）、プロジェクト事務局として「次期システム移行準備室」（プロジェクトチームのうち25名）を設置しました。じもとホールディングスが、プロジェクト全体を統括する体制としております。
- ・また、じもとホールディングス全職員の意識統一、参加意識醸成等を目的として、プロジェクト名の公募を実施。396件の応募の中から「じもとミライ！」に決定しました。プロジェクト名「じもとミライ！」には、「じもとホールディングス、そして地元の未来に向けて、役職員全員で取組んでいこう！」という思いを込めております。



○経営管理

- ・ 公的資金返済の見直しを踏まえ、SBIグループと連携し、利益剰余金計画の達成、中長期的な新たな資本政策への対応を進めます。
- ・ 有価証券運用は、SBIグループと連携し、グループ全体で適正な運用管理体制を継続し、有価証券評価損の縮減と運用改善に取り組みます。
- ・ 信用リスク管理は、赤字決算を踏まえ、審査体制の強化、取引先の実態把握と管理、予防的な貸倒引当計上等、HDの子銀行関与を強めます。
- ・ 人的資本戦略は、人事制度の見直しや運用改善を通じ、意欲と実力と成果に基づき、多様な人材が活躍する組織づくりを進めます。

	きらやか銀行	仙台銀行	SBIグループ連携
HD共通施策 両行が共同で 重点対応	資本政策 / 株価対策 ・ 公的資金返済延長への対応（剰余金計画） ・ パーゼルⅢの最終化への対応 ・ 自己資本のさらなる拡充検討 ・ PBR、ROE改善への取組み		
	サステナビリティ対応 ・ CO2排出量削減目標の設定、開示検討 ・ 女性管理職比率15%+αへの取組み ・ サステナブルファイナンス目標の設定、達成への対応		
HD共通施策 グループ方針を 共有、各行が対応	信用リスク管理 ・ 取引先の的確な実態把握、HDの関与強化 ・ 与信審査管理の向上に向けたグループノウハウの共有、外部知見の導入		有価証券リスク管理 ・ SBIアセットマネジメント連携 評価損改善、再投資の対応 ・ SBIポート以外の投資対応 （債券、株式、投資信託等）
	人的資本戦略 ・ 若手/女性職員向け研修充実 ・ 外部出向や行内異動の公募 ・ 抜擢による活性化 ・ 働き甲斐のある職場環境整備		・ 人材育成に係る指針の策定 ・ 融資渉外の能力強化 ・ 専門人材の育成 ・ 処遇や働き方等、社内環境整備